

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 1月 10日

事業所 ハッピーテラス千駄木教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 ・ 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	66.7%	33.3%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースの中で、安全に楽しく活動出来るように活動内容を工夫しています。 ・段差のある所に注意喚起を促す視覚的配慮を入れております。
	②	職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%	0.0%	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	33.3%	50.0%	16.7%	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は行っていませんが、利用者アンケートや自己評価を行い、課題、改善点等について検討し、その結果をホームページで公開しています。 ・月に1度の3教室合同の研修会、必要に応じての勉強会を実施し、職員の資質向上の機会を設けています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	66.7%	33.3%	0.0%	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	0.0%	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・質問による標準化されたアセスメント行っています。 ・お子様達の課題に合わせたプログラムを指導員で相談しながら計画、作成し、改善を加えながら、お子様に最も適したプログラム活動を目指しています。 ・朝の打ち合わせ、支援後の振り返りの時間を必ず取り、指導員間で、支援についての共通理解を持つようにしています。 ・ハッピーテラスのシステムを活用し漏れなく、プログラムやお子様の支援の記録をし、それをもとに支援の検証・改善をします。 ・個別支援計画書の見直しについては、定期的にモニタリング、ケース会議を適切に行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	66.7%	33.3%	0.0%	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	0.0%	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	100.0%	0.0%	0.0%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	66.7%	33.3%	0.0%		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	100.0%	0.0%	0.0%		・相談支援事業所との連携は基本的にケース担当者が 行うようになっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	該当なし				・保護者の依頼を受けた場合、または必要に応じて は、保護者の了解を得て、ハッピーテラスの教室での 様子や学校の様子を学校と共有して、お子様のより 良い支援に繋げております。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	50.0%	50.0%	0.0%		・第二、三教室をご利用していた方は前担当の指導員 から情報共有、引継ぎを行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	該当なし				・地域交流の活動は、可能な範囲で地域で開催され るイベントなどを紹介しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	50.0%	0.0%	50.0%		・土曜日や休業営業日には、外出プログラムを組み込 み、その際に、公園や児童館で教室外のお子さんと 遊ぶ機会があれば、指導員が介入しながら一緒に遊 ぶようになっています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある	33.3%	16.7%	50.0%		・支援後には、保護者様に丁寧にお子様の様子をお 伝えするように努めています。その際には、教室の支 援に限らず、学校や生活面のお話をするようにし、広 い視点でのお子様の発達状況や課題の共有が保護 者様とできるよう心がけています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	16.7%	66.7%	16.7%		・体系的なペアレントトレーニングは開催していませ ん。その都度、療育後などにご相談があればお受けし ています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	50.0%	33.3%	16.7%		
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	100.0%	0.0%	0.0%		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援している	16.7%	33.3%	50.0%		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 ・ 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護 者 へ の 説 明 責 任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からのご相談があった際には、支援後の振り返りや、お電話、メール等に対応させていただきますが、必要な際には、面談の時間をとってお話することもあります。 ・毎月、「ハッピーテラス通信」を発行し、その月の予定や連絡事項等をお伝えしております。 ・事業所の行事がないため、地域への公開の機会がありません。季節行事のプログラムに、地域の会社にご協力をいただき、お子様や指導員が地域の方と交流が持てる場を企画することがあります。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	0.0%	
	③⑤	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33.3%	33.3%	33.3%	
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100.0%	0.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは、教室の受付に置き、保護者様に確認いただけるようにしてあります。マニュアルに関しては、定期的に見直しをし、適切であるかをチェックしています。 ・虐待防止に関して、都や区が行う研修に参加し、所内で伝達研修を行っています。 ・お子様のアレルギーについては、保護者様に漏れなくかがい、職員間で情報を徹底して共有し、買い物活動等をするようにしています。 ・ヒヤリハットは3教室の管理者間で共有し、事故や怪我などが無いよう努めております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100.0%	0.0%	0.0%	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50.0%	50.0%	0.0%	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。